

第2回 みよし市まち・ひと・しごと創生会議
議事要旨

日時：平成 28 年 2 月 8 日（月） 10:30～12:00

場所：みよし市役所 3F 研修室 3・4

出席者

東海学園大学	加藤 實
区長会	熊谷 津田子
三好高校	桑田 厚司
あいち豊田農協	鈴木 文生
子育てクラブ連絡協議会	時田 美由紀
豊田信用金庫	松井 豊
連合愛知豊田地域業議會	湊 裕
みよし市工業経済会	村上 雅則
東海学園大学（学生）	村岸 見咲
みよし商工会	鰐部 兼道

政策推進部	部長	藤根 金光
	次長	柴田 圭一
	企画政策課長	野々山 清
	企画政策課副主幹	竹内 勇治
	企画政策課主査	芳村 達史
大日本コンサルタント（株）		足立

議 題

1. あいさつ
2. みよし市総合戦略（素案）について

0. 開会にあたり

■政策推進部次長

- ・今回は懇談会形式にて実施するが、会議は公開とし傍聴を認めている。
- ・大村委員は欠席連絡あり、萩原委員は連絡がないため遅れて出席と思われる。

1. あいさつ

■政策推進部部長より挨拶

- ・本会議は、みよし市の人口ビジョン及び総合戦略の策定にあたり、各専門分野から幅広い意見を伺う場である。
- ・前回会議では、人口ビジョン(案)として、平成 72 年に人口 64,000 人・ピーク時人口 66,000 人を目指すとし、その中で「就労・結婚・子育てなどの生活環境基盤の整備」「生産年齢人口の転入・定住の促進」「健康寿命の一層の延伸」を重要な視点として示させて頂いた。
- ・本日は、この人口ビジョンを実現するために、この 5 年間で実施する総合戦略について、各立場からご意見を伺いたい。

2. みよし市総合戦略（素案）について

■事務局より説明

①総合戦略の目的

- ・総合戦略は、人口ビジョンで示した総人口の将来展望を達成すべく、合計特殊出生率及び移動率の維持、自然増を促進し、社会減を抑制することを念頭に作成した。

②総合戦略の位置づけ及び③計画期間

- ・総合戦略は、国及び県が策定した人口ビジョン及び総合戦略を念頭に、国が提示している 5 原則、「自主性・将来性・地域性・直接性・結果重視」に対応した施策を位置づけている。なお、総合計画との関係は、総合戦略では、人口ビジョンで設定した将来展望や方向性を実現するために今後 5 年間の基本目標を定め、総合計画に位置づけられていないものについては、次期総合計画や実施計画に反映していくこととしている。
- ・計画期間は、平成 27～31 年度までの 5 年間。総合計画との関係を時系列で示すと、総合戦略は、現総合計画とも連携しつつ、次期総合計画に反映・位置づけていくものとしている。

④総合戦略の推進

- ・総合戦略についても、現総合計画での取り組み同様、P D C A サイクルに基づく管理を実施していく。
- ・推進体制については、今後 5 年間の中で総合戦略に位置づけた施策は、財政的な懸念もあるが、実施を図っていきたい。

⑤総合戦略の基本的な考え方

- ・全国的に人口減少に転じる中で、本市については、国の推計でも人口増加の傾向にあるとされている。しかし、将来的な人口減少や超高齢化社会を見据えた中で、「ささえあいと活力のまち」という考え方に則っている。
- ・本市は、県内でも人口増加が続くと見込まれていること、製造業従事者比率が特に高く昼間人口が夜間人口よりも多い、年少人口の割合が高く高齢化率が低いといった人口及び人口構成が強みといえる。ただ、住んでいる方について、定住という観点からは持ち家率は、全国的にみれば低くはないが県内ではやや低い位置にあり、核家族世帯割合も高い傾向にあるため、将来的な人口の安定には課題を持っている。
- ・総合戦略の策定にあたり、18～49歳の男女2,000人を対象にアンケートを実施(回答率44.3%)した。

【結婚】については、未婚者の77.1%が結婚したいという希望を持っており、結婚に対しての不安として、経済面・出産子育て・仕事との両立をあげていた。

【出産】については、現在子どもをお持ちでない方の64.5%が子どもを持つことに希望を持っており、出産に対しての不安として、経済面・精神面をあげていた。

【子育て】については、結婚・出産同様、経済面に不安を持つ方が多く、サービスの充実を望む方が多かった。

【しごと】については、当然正規雇用を望む方が多く、地域性もあると思うが、男性については製造業、女性については医療・福祉を望む方が多かった。

【居住】については、70%が本市に住み続けたいという希望を持っていた。市外で住みたいという方は公共交通が不便を理由としているが、愛知県の特性というか名古屋市の中心以外の都市については共通の状況であると認識している。

⑥重視すべき視点

- ・総合戦略における重視すべき視点は、人口ビジョンの3つの視点に対応する3つの基本目標を設定した。

⑦基本目標と施策

- ・構成は、基本目標に対し数値目標を設定し、それを実現していくための基本的施策を示し、基本的施策を評価していくための重要業績評価指標(KPI)を5年間、平成31年度の目標値として掲げている。また、基本的施策の中で「取り組みます」「検討します」の表現は、「取り組みます」は、現在実施している施策・事業の拡充等、「検討します」は今後あらたに取り組む施策・事業を示している。なお、数値目標については、行政評価で実施している市民を対象に実施している満足度調査より設定している。

【基本目標Ⅰ：安心して子育てできる環境づくり】

- ・数値目標として「子育て支援の満足度」「教育の充実の満足度」を設定。
- ・基本的施策
 - ・①結婚・出産の希望に関する支援については、市民アンケート結果も考慮し、【男女の出会いの場の創出支援】や、現在も実施している【出産に対する支援の拡大】に取り組む。これらの指標(KPI)として、[男女の出会いの場参加者数][男女の出会いの場参加者による結婚成立組数]

[出生率] [婚姻率]を設定。

- ・ **②子ども・子育てに関する支援**については、現在も実施している【母子保健対策の充実】や、アンケートにもあった経済的不安に対し負担軽減として【医療費助成対象の拡大】の検討、また【子育てを楽しむ環境づくり】として、例えば子育てふれあい広場の充実、第3子以降の保育料・幼稚園授業料の原則無料化といった【多子世帯の経済的負担の軽減】の検討に取り組む。これらについても、評価の指標(KPI)として、[児童館・集会所の年間延べ利用者数]など4つを設定。
- ・ **③学校教育の充実**については、現在実施している35人学級の拡大などの【教育環境の充実】、いろいろ悩みを抱えている児童生徒がいるが、一人ひとりの良さが発揮できるような【魅力ある学校づくり】、小中学校の改修や空調機設置なども含めた【良好な教育環境の整備】に取り組む。こちらについても、評価の指標(KPI)として3つ、[少人数学級の実施状況]やアンケートによる[学校は楽しい]と回答した割合等を設定。
- ・ **④仕事と生活の調和に関する支援**については、仕事をしながら子育てを行うといった中でどのような支援ができるかといった視点で、子育て世代への支援として【育児サポートの充実】、親への支援、結婚や出産での離職・復帰といった支援として【子育て世代の就労支援】に取り組む。KPIについては3つ設定しており、[放課後児童クラブの年間利用児童数]については、現在も実施しているが増加、3つ目の[就労支援セミナーの開催]については実施していくといったものである。

【基本目標Ⅱ：暮らしたいと思える環境づくり】

- ・ 数値目標として、住環境に係る指標を2つ設定。
- ・ 基本的施策
 - ・ **①多様な世代を誘引する仕組みづくり**については、移住・定住を図っていく中で、持ち家率を少しでも高めていくといった視点で【住宅取得に関する支援】を検討、子育て世帯など新たな世代の転入、住替えに関する支援といった【世代循環の仕組みづくり】の検討、県が昨年度設置した愛知県地域しごと支援センターや本市のみよし市就労支援センターを活用した就労支援セミナーの開催などによる【雇用対策の充実】、本市の強みである製造業については今後も【企業誘致の推進】に取り組む、企業の中での【創業の支援】に取り組む、また企業の設備投資などへの支援など【企業の競争力の強化の支援】に取り組む。こちらのKPIについては、転入・転出に関するもの、業を起こす・業を創るといった起業・創業に関するもの、また新たな進出企業数について設定。
 - ・ **②公共交通ネットワークの確保**については、今後も「さんさんバス」を【公共交通の利便性の向上】のため継続、また自家用車を通勤等に利用している方の【公共交通への利用転換】といったことを取り組んでいく。こちらのKPIについては、公共交通関係に関する指標を3つを設定。
 - ・ **③安全・安心なまちづくり**については、住んで頂くために【防災力・減災力の向上】といった災害に強い体制をつくるといった取り組み、【防犯力の向上】として自主防犯パトロールに対する支援や今後も防犯カメラ・防犯灯の設置に取り組む、道路等について第一として【交通安全対策】に取り組む、公共施設については、今後最適化や長寿命化など、効率化や更新費用の低減

などの検討を行う。こちらの KPI については6つ、防災関係・交通安全等の指標を設定。

- ・ **④魅力と活力のあるまちづくり**については、ソフト的なものが主体となるが、移住・定住の促進を図るため、本市の魅力を発信する【シティプロモーション】の検討、市役所及び7月にオープンするサンライズを中心とした中心市街地の賑わいなど【まちの魅力の向上】の検討、三好ヶ丘駅周辺のにぎわいに関係する地元農産物の直売や市民体験農園といった拠点【総合交流拠点の整備】の検討、【まちの活力の向上】としての地域のコミュニティ施設、地域の拠点施設の整備に取り組む。また現在もいろいろとご協力頂いているが、今後も東海学園大学様・三好高校様と連携し【地域づくりの活動の活性化】等に取り組んでいきたい。次に農産物について、JAもあるが直売所という形で【地産地消の推進】、また【みよし産の農産物のブランド化の推進】についても検討する。こちらの KPI については、[シティプロモーション動画の閲覧数][NPO法人数][図書館来館者数]の3つを設定。

【基本目標Ⅲ：誰もが健康に暮らせる環境づくり】

- ・ 数値目標として、福祉・医療関係に係る指標を2つ設定。
- ・ 基本的施策
 - ・ **①健康づくりの支援**については、健康で長生きが1番なので【健康づくりの推進】として健康状態を測定しながらの活動を支援していくプログラムなどについての検討、今後高齢化の進展が見込まれているので、現在もいろいろと取り組んでいるが元気で暮らしていただくため【健康寿命の延伸】に取り組み、また健康寿命の延伸とも関係するが、高齢者の方が要介護といった状態にならないように【介護予防・認知症予防の推進】に取り組む。さらにみよし市の場合は高齢者だけでなく総合的な【地域包括ケアシステムの構築】について取り組む。また健康を増進するために、スポーツにより親しみ【スポーツによる健康づくり】【良好な運動環境づくり】に取り組む。こちらの KPI については、健康寿命に関すること、スポーツ・運動施設に関すること等について、4つ設定。
 - ・ **②生きがいづくりの支援**については、生きがいを持った中で暮らしていただきたいということで、現在行っていることもあるが、社会参画といった中での【生涯学習の支援】、高齢者の今までの知識を生かした【高齢者の活躍の場づくり】に取り組む。また、高齢者の方を含めた形で社会に参加する中で生きがいを見つけて頂くという視点、現在活動している福祉ボランティアも含め【ボランティア活動の支援】に取り組む。こちらの KPI については、生涯学習やボランティアの参加者等の5つを設定。
- ・ 以上が、基本目標及び基本的施策の説明となるが、P20以降は基本的施策を具体化していくための主な取り組みを体系化して整理。なお、■は現総合計画実施計画と連携を図る取り組み、今後5年間の中で新たにに取り組んでいくものが□で示し、□については、総合戦略としての新たな取り組みの概要として、その取り組みのイメージを整理している。

3. 意見交換(質疑・応答)

■全体について

松井氏：全般的に施策メニューは充実していると評価できるので、市民に対する広報及び実際に市

民が使いやすい制度としていって欲しい。

鈴木氏：現総合計画策定時に施策の検討・洗い出しを行ったが、まだ新しい施策にも取り組むということなので、ぜひ頑張っていたきたい。

■基本目標Ⅰに対する意見交換

事務局：子育てしている女性の立場から、基本目標Ⅰの各施策をどう思うか？

時田氏：【医療費助成の拡大】【育児サポートの充実】は良い施策と思う。自身の生活で考えると、医療費助成が中学生までと高校生まででは全然違う。また、育児サポートの充実として、放課後児童クラブが18:30まで預けることができると、安心して仕事ができる環境となる。なお、子ども会加入率について、子ども会により違いがあるので、統一は難しいが、子育てクラブ連絡協議会としても今後検討していきたいと思っている。

村岸氏：子育てに関する経済的支援は、出産したいと思えるので良い施策と思う。

鈴木氏：【医療費助成の拡大】は良い施策と思う。

事務局：若い世代の「結婚を望まない」理由をどう捉えているか？

村岸氏：今の世の中は、女性が活躍・自立し、必ずしも男性に頼らずに生活できるので、結婚が絶対という考えでなくなっているのではないかな。

熊谷氏：結婚を希望する若者へのサポートとしての【男女の出会いの場の創出支援】は良い施策である。なお、若い世代が「結婚を望まない」ことについて、結婚の目的をきちんと考える・伝える必要があると考える。年齢を重ねていった時の1人でのことのむなしさは、若い世代はまだわからないことだとは思いますが、男性に頼るため・子どもを産むために結婚をするのではなく、生涯の伴侶を得るために結婚をするという、意識的に結婚を前向きに考えられるような教育もあわせて取り組んでいく必要があると思う。

桑田氏：結婚に対する女性の考え方は今も昔も同じではないかと感じている。ただ、キャリア教育というか、女性も仕事(就職)を真剣に考えている状況はあると感じる。なお、最近の子たちは、コミュニケーションが不得手ではあると思うので、【男女の出会いの場の創出支援】は良い施策になると思う。

鰐部氏：【男女の出会いの場の創出支援】については、現在商工会でも実施しているところであるが、50名程度の参加者がある。過去4年間で、結婚4組・交際10組の実績がある。本事業は、市の支援も得て大きくしていきたいと考えている。なお、結婚については、女性が働きやすい環境をつくることが重要であり、小学生以下を預ける体制について、ベビーシッターなど海外の事例も参考に検討して欲しい。KPIの3歳未満児入園者数目標値は430人といわずに、もっと広げて欲しい。

湊氏：学校教育の充実について、【教育環境の充実】は良い施策であるが、少人数学級の実施による教員数不足は大丈夫か？また、教員の質の向上についても検討していく必要があると思う。

事務局：教員数不足に対しては、市費投入も検討していかなければならないと考えている。

加藤氏：先ほど教員数や教員の資質の話があったが、東海学園においては当初みよし市には教育学部を置く予定があった。包括支援の話も絡め、市から大学側にアピールしていただき、連携を図っていただければ考える。

桑田氏：昨年 11 月に、東海学園と三好高校で人的交流も含めた高大連携協定を締結したので、市とも連携して取り組みを行っていただければと考えている。

鈴木氏：【良好な教育環境の整備】は良い施策と思う。

村上氏：KPI の学校評価アンケートの「学校は楽しい」の満足度は、漠然としているので、事業と連携する指標としたほうがよいのではないかと？

事務局：教育委員会に報告しておく。

■基本目標Ⅱに対する意見交換

桑田氏：三好高校は広域避難場所にも位置づけられているので、高校施設を実際に使用した総合広域防災訓練を 1 度実施してみてもどうか？

事務局：防災部署に対し報告しておく。

村上氏：②公共交通ネットワークの確保について、KPI でさんさんバス利用者数及び名鉄バス利用者数と公共交通対策の満足度は相関関係にあると判断するが、バス利用者数の伸びと満足度の伸びに乖離があるのではないかと？バス利用者数を増やすことに対する積極性が伺えない。なお、公共交通対策の満足度を向上させる例として、例えば自転車専用レーンの設置などを記述できないのか？

事務局：自転車専用レーンについては、次期総合計画での検討事項としたい。

松井氏：KPI の図書館来館者数の目標値が非常に高いものとなっているが？

事務局：図書館は、現在建て替え中。来年度オープンするので、あえて高い目標値を設定し、取り組んでいく所存である。

鈴木氏：【協働のまちづくり】ではないが、JA の立場からすると、みよし市は果樹園、ぶどう畑が多いが、その担い手が不足しているのが実情である。例えば、企業を退職した方が農業に従事してもらえると大変助かる。

事務局：基本方針Ⅲにも関係するが、健康で長生きして頂くことが、人口増加には不可欠なので、生きがいづくりの支援もメニューとしている。

なお、市としては産直施設を増やしていきたいと考えているのだが、どう思うか？

鈴木氏：市内の農作物だけで賄うことは難しく、単に直売施設を増やすだけでなく、市民農園など個人で栽培されている方も含めるなどの検討も必要ではないか。

鰐部氏：安全・安心に暮らせる環境づくりを進めると言っているが、市役所近くの交番の現状を見ると、現在のみよし市が安全・安心に暮らせると私は感じていない。防犯カメラの設置についても全額市費で行うなど、安全・安心に対し、市の施策として重点化、もっと予算化

すべき。

- 基本目標Ⅲに対する意見交換
(特になし)

4. 閉会にあたり

- 政策推進部次長

- ・以上で第2回みよし市まち・ひと・しごと創生会議を終了します。
- ・傍聴者は資料を置いて退席願います。

以 上